６年生　「国語」の学習

６年生では，こんな学習をします。

＊学習の目標

(1) 目的や意図に応じ，考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに，計画的に話し合おうとする態度を育てます。
(2) 目的や意図に応じ，考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに，効果的に表現しようとする態度を育てます。
(3) 目的に応じ，内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに，読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。

☆授業の工夫

○　国語は，最も身近で，すべての学習の基礎となるものです。そこで，児童が楽しく進んで学べるような授業を心がけていきたいと思います。
○　そのために，身近な事柄を取り入れて，他教科と関連させながら，話す・聞く・書く・読むなど多様な学習活動を取り入れていきます。
○　高学年の国語は，これらの学習活動をもとにして，話し合いや情報集め・整理や発表など発展した学習につなげていきたいと思います。

☆年間の学習計画

	前期	時間					
単元・題材	1　表現の良さを味わいながら声に出して読もう ・風切るつばさ ・野のまつり・五月・雪 ○漢字辞典を利用しよう ☆言葉の広場 2　自分の意見を伝えるスピーチをしよう ・伝え合おう，わたしの意見 □依頼の手紙を書こう ◎続けてみよう ○ことわざや昔の言い方に関心を持とう ☆言葉の広場 3　書かれていることがらの中心をおさえながら読もう ・イースター島にはなぜ森林がないのか □気持ちのよい話し方をしよう ○日本の文字に関心を持とう ☆言葉の広場 4　強く語りかけてきたことを考えながら読もう ・ヒロシマのうた	7 2 5 3 2 7 4 2 8	□しょうかい文を書こう ＜自由作文＞ 5　役割に応じた話し方をくふうして ・ニュース番組を作ろう	6 12	4　私たちの「未来」について討論しよう ・百年前の未来予測 ○文の組み立てに目を向けよう ☆言葉の広場 5　人物の生き方を考えよう ・海のいのち ○熟語の構成について考えよう ☆言葉の広場 6　さまざまな表現方法を生かして ・「未来へのメッセージ」を書こう	10 2 12 2 8	
			後期				
			1　作家と作品をかかわらせて読もう ・宮沢賢治 □感動をリズムにのせて 2　いろいろな言葉について調べよう ・言葉の意味を追って ○言葉の由来に関心を持とう ☆言葉の広場 3　構成をくふうして書こう ・「わたしの意見」を書こう ○文末の言い方に目を向けよう ☆言葉の広場 ＜自由作文＞	10 3 12 2 8 2 5	※　１年間通して ○　書写 ○　自由作文	30 11	
補充・発展学習							

☆評価の観点

【国語への関心・意欲・態度】
　国語に対する関心をもち，計画的に話し合ったり，適切に書いたり，幅広く読書したりしようとする。
【話す・聞く能力】
　目的や意図に応じ，考えた事や伝えたい事などを的確に話したり，相手の意図を考えながら聞いたりする。
【書く能力】
　目的や意図に応じ，考えた事などを筋道を立てて文章を書く。
【読む能力】
　目的に応じ，内容や要旨を把握しながら読む。
【言語についての知識・理解・技能】
　音声，文字，語句，文や文章，言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解している。書写では，文字の形，大きさ，配列，毛筆では，点画の筆づかい，文字の組み立て方，字配りなどを理解して文字を正しく書く。

☆評価の方法

・普段の学習態度や発表
・ノート
・ワークシート
・宿題などの提出物
・小テスト
・単元ごとのテスト

などを総合的に評価します。